

# 南会津 のうりん ニュース



今号の写真:旧南会津郡役所

## トピックス

## 目次

- ・ 田島小学校で木工教室(出前講座)を実施しました
- ・ 「就農相談会 in 南会津地域のスキー場」を開催しました
- ・ あいづ“まるごと”ネット第2回交流会を開催しました
- ・ 土地連南会津支部研修会及び施設管理協議会を開催しました
- ・ 令和7年度「教育旅行における農家民泊受入者数拡大へ向けた南会津地域の行動計画」における意見交換会を開催しました
- ・ 福島県農業士認定者及び退任者をご紹介します

## 農林事務所からのお知らせ

- ・ 福島県高精度測位システム(福島県RTKシステム)の利用申込について
- ・ まだ、見てない!?「1400のネタばらし」
- ・ アスパラ塾(3年目)開催予告

## コラム

- ・ キラリと光る南会津の6次化商品～南会津の濃縮ブルーベリーードリンク～【NPO法人あたご(南会津町)】
- ・ ワークステイ受入農家インタビュー【湯田孝義さん】

第229号(令和8年3月13日発行) 福島県南会津農林事務所

## トピックス

### ＼田島小学校で木工教室(出前講座)を実施しました／

1月13日、田島小学校4年生児童31名を対象に木工教室(出前講座)を実施しました。

この出前講座は、子ども達が楽しみながら両刃のこぎりの正しい使い方を身に付けるとともに、木や森林に関心を持ち、「伐って、使って、植えて、育てる」という木材の利用と森林(もり)づくりの大切さを知ってもらうことを目的に実施しました。

子どもたちは、のこぎりで上手に切るために伝えた「まっすぐ動かす」「しっかり押さえる」ことに一生懸命に取り組む、たくさんの木材を切ることができており、講座の終わりには「のこぎりで切るのは意外に軽かった」「しっかり押さえるために手が痛かった」などの感想を発表してくれました。

また、最後に「森を育てるためには木を伐るんだよ」と話したときは「えっ!？」と素直に驚いていましたが、間伐することで森林の木が太く健康に育つことや、伐採し森林を新しくすることで二酸化炭素を取込む量が増え地球温暖化の防止に役立つことを、スライドを使って説明すると、真剣な表情で聞いていました。

そのような子供たちの様子は教えた職員もうれしく、一緒に楽しい時間を過ごす中で、木や森林を少しでも身近なものとして感じてもらえることができたように思います。

森林林業部ではこれからも、様々な機会を捉えて、県民の皆さまに森林や木とふれあっていただける取組を行ってまいります。



説明を真剣に聞く子供たち



一生懸命のこぎりに取り組む子供たち

(森林林業部)

## 「就農相談会 in 南会津地域のスキー場」を開催しました

1月24日に「会津高原南郷スキー場」、2月7日に「会津高原だいくらスキー場」において、就農相談会を開催しました。南会津地方では、スキー・スノーボードをきっかけに他の地域から就農した方が多くいらっしゃることから、この取組を令和4年度から実施しています。

今回も、各スキー場に特設ブースを設け、当事務所職員と福島県農業振興公社の就農コーディネーターが相談に対応しました。相談者は、就農に向けた研修制度や、南会津地域で生産されている南郷トマトやアスパラガス、花き等の話に熱心に耳を傾け、就農への意欲を膨らませました。

農業振興普及部では、次年度も「道の駅・まちの駅」や各「スキー場」で相談会を開催し就農支援を行ってまいります。また随時、就農相談に対応しますので、就農を検討する場合は気軽にお声がけください。



相談会の様子

(農業振興普及部)

## 「あいづ“まるごと”ネット第2回交流会を開催しました

12月23日及び2月17日に、南会津の6次化事業者の販売力向上と販路拡大を図るため、あいづ“まるごと”ネット第2回交流会を開催しました。

1日目は田島建設会館にて開催し、いわきユナイト株式会社代表取締役COOの植松謙氏より「初めての展示会・商談会」と題して御講演いただきました。初出展に向けた心構えやポイント、バイヤーとの交渉で必須となるFCPシートの作成方法について学びました。

また、1日目終了後にはFCPシートのオンライン添削を実施し、商談を前に進めるための具体的なアドバイスをいただきました。

2日目は6次化商品を取り扱う販売店舗にも御参加いただき、御蔵入交流館にて商談会を実施しました。参加した事業者や販売店舗からは、「商品を納品することになった」「販売開始に向けた調整を進めたい」などの声が聞かれ、新たな連携や取引につながる有意義な場となりました。



講演の様子



商談の様子

(企画部)

## 土地連南会津支部研修会及び施設管理協議会を開催しました

福島県土地改良事業団体連合会南会津支部と農村整備部では、管内各町の農業農村整備担当者や土地改良区職員を対象とした研修会を毎年開催しています。

今年度は1月14日に、(株)クボタのアグリソリューション推進部技術顧問である及川一也氏を講師にお招きし、「データ活用で変わる中山間地域農業」と題して御講演いただきました。

講演では、農家戸数の減少や農業者の高齢化など、当管内の農業に係る実情も踏まえ、課題解決のための有効な手段としてデータを活用したスマート農業が紹介され、参加者は講師の話をも真剣に聞いていました。

現在、当管内で実施しているほ場整備事業においても、単に区画を大きくするだけでなく、将来的なスマート農業の活用を見据えた整備内容、水準が求められるという意識を新たにすることができました。

この他、当事務所長の馬場より管内の施設園芸の導入推進に向けて活用できる事業の紹介や、農村整備部から今年度実施された会計実地検査の結果や国の新しい土地改良長期計画に基づく今後の農業農村整備事業の方針等について情報提供を行いました。



講演の様子



当事務所長による事業紹介

(農村整備部)

## 令和7年度「教育旅行における農家民泊受入者数拡大へ向けた南会津地域の行動計画」における意見交換会を開催しました

1月29日に令和7年度「教育旅行における農家民泊受入者数拡大へ向けた南会津地域の行動計画」における意見交換会を開催しました。

この意見交換会は、令和6年7月に策定した行動計画に基づき、当事務所や関係機関の取組を評価・検討しながら、今後展開していく事業のブラッシュアップを図るために開催しており、今回が2回目の開催となります。



意見交換会の様子

当日はこれまでに当事務所が実施した事業や、12月に当事務所で実施した新潟県での先進地視察結果について説明したのち、各機関・団体の取組、課題などを共有し、農家民泊受入者数拡大へ向けた様々な意見を交換しました。

今後も毎年開催することで、各関係機関・団体の取組みや課題の共有を図りながら行動計画を評価・検証し、今後の取組みに反映させてまいります。

(企画部)

## ＼福島県農業士認定者及び退任者をご紹介します／

県では優れた農業後継者を育成確保するため、農村青少年の育成に指導的役割を果たしている方を農業士として認定しています。1月22日に福島市の杉妻会館において認定証交付式が開催されました。

南会津地方からは南会津町水無の室井崇さんが青年農業士に引き続き指導農業士として認定されました。また、同じ南会津町の金井沢地区で南郷トマトを栽培する湯田純さんが新たに青年農業士に認定されました。

一方で南会津町田部の(株)土っ子田島ファーム取締役の湯田浩仁さんが65歳をむかえた本年度末に指導農業士を退任されます。在任中は農業後継者への指導・助言はもとより県や会津地方農業士会の理事等として尽力いただきました。その功績に対して同じ1月22日に知事から感謝状が贈られました。改めて湯田さんの活動に対して深く感謝するとともに、今後ますますの御活躍を御祈念いたします。

現在、県では農林水産業振興計画で340人/年以上の新規就農者確保を目標としています。室井さんをはじめ、小山力丸さん、渡部貴人さん(下郷町)、目黒広信さん(只見町)、小野孝さん、芳賀拓也さん、渡辺恵子さん(南会津町)には指導農業士として、また湯田さんをはじめ7名の青年農業士の方々には引き続き、農村青少年の育成に協力をいただきます。



知事より認定証を授与される室井崇さん

(農業振興普及部)

## 農林事務所からのお知らせ

### ー福島県高精度測位システム(福島県RTKシステム)の利用申込についてー

県では、農業等の産業振興のため、GNSS(GPS)位置情報の補正情報を提供するRTK固定基地局を県内11か所に設置しています。令和7年度より本格運用を開始していますので、ぜひ御活用をお願いします。このシステムを利用するには、毎年農林事務所への利用申込みが必要です。詳しい案内や申請書の様式等は県農業振興課ホームページを御確認ください。

#### 【概要】

・使用料金(1年分)

ライセンス1件目:20,000円

ライセンス2件目以降:10,000円

※ なお、利用を検討されている場合は、1か月のお試し利用ができます(無料)。

・利用申込

所在地を所管する農林事務所に申請書を提出してください。

#### 【ホームページURL】

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/fukushima-rtkssystem.html>

#### 【問い合わせ先】

農業振興普及部 0241-62-5253

(農業振興普及部)

[トップへ戻る](#)

## ーまだ、見てない!?'1400のネタばらし'ー

福島県農林水産部では、約1,400人の職員自らが現場目線で自由に企画・発信したり、福島ならではの農林水産物の魅力や熱意あふれる生産者の姿などを取材し、部公式YouTubeチャンネル「1400のネタばらし」で発信しています。当事務所職員が今年度作成した動画をいくつか紹介しますので、是非御覧ください。

### ■気軽に農作業体験！

「南会津ふるさとワークステイ事業」

ワークステイ事業に参加した大学生に密着し、農作業体験をしている様子を撮影しました。トマトの栽培管理作業に真剣に取り組む姿は必見です。



### ■農家民宿開業までの流れを解説！

【南会津地方版(令和7年12月時点)】

南会津地方にて農家民宿を開業したいと考えている方へ向けて、農家民宿の定義や開業までの流れを解説しています。農家民宿を開業して、教育旅行で南会津を訪れる学生を受け入れてみませんか？



### ■【南会津クイズ】地元民には常識！？

あなたは何問正解できますか【南会津探究学習ワークブック】

「南会津探究学習ワークブック」に掲載されている、南会津に関する全10問のクイズに挑戦！南会津に住んでいても、意外と知らないこともあるかもしれません。



これからも引き続き、工夫を凝らした動画を作成していきますので御注目ください！！



◀ 農林水産部公式  
YouTubeチャンネル  
二次元コード

(企画部)

## ーアスパラ塾(3年目)開催予告ー

アスパラガス栽培に興味がある方や、これから始めてみたい方向けの講座を、今年も開催予定です。

品種選びや植え付け後の管理、病害虫対策などの基本的な栽培技術を、初心者にもわかりやすく解説します。あわせて、初期費用や収支の目安など、お金に関する内容も紹介予定です。

「まずは話を聞いてみたい」という方も大歓迎です。

※日程などの詳細は、決まり次第お知らせします。

※希望される方は、当事務所農業振興普及部へ御連絡ください。

TEL : 0241-62-5256

または

MAIL : shinkouhukyu.af05@pref.fukushima.lg.jp

(農業振興普及部)

### コラム

#### キラリと光る南会津の6次化商品 ～南会津の濃縮ブルーベリードリンク～

【NPO法人あたご(南会津町)】

南会津町の「NPO法人あたご」から、新商品「南会津の濃縮ブルーベリードリンク」が登場です。本商品は、すでに販売中の「ブルーベリードリンク」をさらにぎゅっと濃縮させた1本で、砂糖は一切使用せず、原料はあたごファームで栽培したFGAP認証のブルーベリーのみ。素材にとことんこだわった商品です。

口に含むと、ブルーベリー本来のキリッとした酸味が広がるとともに、優しい甘さも感じられます。後味はすっきりとしており、濃縮タイプなので少量でも満足感があります。

1本あたり約100gのブルーベリーが贅沢に詰まっており、アントシアニンが約10mg含まれているため、健康や美容を意識している方、スマートフォンやパソコン作業で目の疲れを感じている方にもおすすめです。

そのまま飲むのはもちろん、ヨーグルトやアイスクリームにかけたり、炭酸やお酒で割って飲んだり、ドレッシングやオリジナルステーキソースにも使用できます。

現在は「道の駅あいづ湯川・会津坂下」にて販売中ですが、今後、南会津郡内やあたごオンラインショップでも販売予定です。ぜひ御賞味ください。

#### 【NPO法人あたご(南会津町)】

📍 南会津郡南会津町中荒井字西原47

☎ 0241-62-6211

🔍 <https://shop.npo-atago.com/>



## ワークステイ受入農家インタビュー【湯田孝義さん】

南会津ふるさとワークステイ事業の受入農家になり13年目。南会津町で水稲や野菜を栽培する農家、湯田孝義さん。農家と社員の兼業時代から当事業に御協力いただいている湯田さんに、「南会津での農業の魅力」や「ワークステイ受入農家のやりがい」についてインタビューしました。

### ○自己紹介をお願いします。

南会津町で水稲や大根、アスパラ、ジャガイモ等の野菜を栽培しております。現在は、専業農家として8年目となりますが、それまでは農家の傍ら、会社員としても働いていました。ワークステイ事業に関しては、平成25年度から受入農家になり、たくさんの方に当地域の農業や生活を体験してもらいました。

### ○南会津で農業をする魅力を教えてください。

やはり自然が豊かな場所で農業ができる、生活できる点ですね。豊かな自然、四季を感じることができます。水はきれいですし、川魚もたくさんいる。夏は涼しく、冬はウインタースポーツも楽しめる。また、地域コミュニティも充実しており、人が暮らす・育つには最高の環境です。

この魅力を、ぜひワークステイを活用して体感してもらいたいです。その際は、変に気負うことなく来てほしいです。行ったことがない場所に行くときや未体験のことを始めるときは、固くなってしまいます。「遊び心をもって、まずは体験してみる」くらいの気持ちで参加したほうが視野を広く持てますからね。

### ○ワークステイ事業の受入農家になったきっかけを教えてください。

南会津で就農する人を増やしたいという思いから、受入農家を始めました。また、当地域に興味をもっていただいた方にいろいろな体験をしてもらいたいとの思いもありました。今でもこの思いを胸に、ワークステイ事業の受入農家として参加者を受け入れています。

### ○参加者を受け入れてよかったと感じる点と大変だった点はありますか？

交流人口が増えた点が一番よかったと感じています。10年前に受け入れた学生とも付き合いがあり、自分が出会うことがなかったであろう人たちとたくさん関わることができました。

逆に大変だった点は、思い浮かばないです(笑)。参加者は礼儀正しく素直ですし、私の妻も打ち解けるのが早いので、苦労はなかったです。自分の都合に応じて受入れの可否を判断できますから、忙しい場合は、受入れを断ることもできます。

### ○当事務所のサポートについてはどう感じておられますか？

こちらの意見をしっかり聞いて丁寧に調整を進めていただき、大変心強く感じております。当日に参加者を受け入れるだけでこちらでの調整はほぼなく、調整・手続きについてはすべて農林事務所で行っているため、受入れに集中できます。毎年一生懸命に取り組まれていると思います。これからもよろしくお願いします。

これからも受入農家の皆様のお力添えを賜りながら、当地域での農業の魅力を発信し、地域の担い手づくりにつなげていきます。

湯田さん、今回はお忙しい中インタビューを引き受けていただき、ありがとうございました。



湯田 孝義 さん

お問い合わせはこちら

福島県南会津農林事務所 企画部 地域農林企画課  
〒967-0004 福島県南会津郡南会津町田島字根小屋甲4277-1  
☎ 0241-62-5252 FAX 0241-62-5256  
ホームページ: <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36250a/>

